三隅広報

発　行　所
三隅町広報委員会
発行人　稲田正治
編集人　三原祥祐

今年の作や如何に！
繰り廣げられる本町産業祭

年間の皆さんの辛苦の結晶によつて実のつた地域の幸を集め、過去を反省し今後の生産計畫に役立ための構想のもとに今年の産業祭は来る十二月七、八日の両日に決定した

本町新生運動五ケ年計畫を終り新に特別地域に指定された第一年目であります、毎年の如く訪れる台風の被害も大したことはなかつたと思はれましたが一部には相当の風害があり豊作とは云へない実状であります。よつて専門技術者の提唱する通り今後の経営は必然的に多角経営に移行されることが考へられます。

此の時に一年間の辛苦の結晶を見て反省と希望を新にすべき産業のお祭を営み米麦主作物を始め特産蔬菜、林産物果樹、水産物各種手芸品等々自家生産物を出品し或は統計による進歩の状態を図示して全般に互り批判研討を致しまして之が今後の計畫に役立つならば産業祭の意義があること此上もないのであります

本町の新生運動もあらゆる部門の活動と共に真に実践の域に達してをります、品種の撰択植付の時期適地適作、販売の合理化漁法の改善労力の配分等お互の研究と共同の力により生産の向上経済の確立と併せて生活文化の進展により平和にして美なる郷土の建設に精進せられんことを念願するものであります。

尚今年は山口県産業祭コンクールに參加することになりましたので、左記行事を計畫しています。

一、物産共進会二、新生運動展三、学藝品展示会四、寫眞展五、榮養改善普及展六、青年展示会七、生活改善展示会八、料理コンクール九、農業關係實物鑑定競技会一〇、産業關係研究物展示会一二、肥料並びに農藥の展示一三、バザー一四、農機具展示並びに實演一五、福引大会一六、即賣會

「實のりの秋」　刈取りも忙しい……市風景

町政のあゆみ

▲九月三十日　定例第二回町議会開催

町教育委員香月益雄氏の任期一年が満了につき、町長これが後任委員に小技義雄氏を推薦し議会の同意を求めた所満場一致可決　就任決定を見た。

▲十月七日　三隅湯免温泉第三ボーリング工事の起工式

▲十月十二日　湯免温泉開発委員会開催

▲十月十四日　日広報委員会

▲十月十七日　町議会文教委員会開催

▲十月二十一日　災害林道大里線査定会

▲十月二十二日　昭和三十二年度三隅町産業祭実施計畫協議会開催

◆これからの町行事

十一月十一日　町秋季道路愛護掃除実施

十一月中旬　臨時第六回町議会開催

十一月十六日　昭和三十二年度戦歿者町合同葬並びに追弔会執行

十一月下旬　町一般事務監査執行

十二月七、八日　昭和三十二年度町産業まつり開催

十二月中旬　臨時第七回町議会開催

人物往來

十月二十二日より五日間の予定で稲田町長上京さる。上京の主目的は次の通り

1沢江宗頭間の国道補装実現のため

2三隅市区域の河川改修工事予算増額陳情

3宗頭絵堂間県道改修実現のため

4沢江踏切の股線橋実現のため

十月十三日　今澄代議士国会報告講演の為来町

十月九日　宮崎県西諸県郡真幸町議会議員本町視察のため来町

十月十九日　山口県農業会議々員が今年度水稲作柄調査のため来町

最近の部落活動状況をきく

部落親子会から
全体運動を起しつつある市部落

新らしいむらつくりに、近来新生運動の実践か、しきりに叫けばれていますが、これを実践に移すことは仲々容易でないと思ひます。当部落に於ける諸種の動きは、別に計畫的に実施したのではありませんが、親子会を契機としていつしか胎動し始めたのではないかと思ひます。ではその親子会より、どの様に進んだかと申しますと、親子会は、部落PTAの課題として、発足当時の社会風潮より、次代を背負つて立つ大切な、子供達を如何にして守り善導するか、即ち親と子が一丸となつて話し合ひ、その方途を見出す事にあつたのであります。

当初は子供に対して良いことばかりを押付けようとする考のみ強く、単に子供の善行申合せ会の様な型で、何等の進展を見なかつたのでありましたが、更に会を重ねることに於て、子供には子供の世界があり、親が独善的に子供の善悪に干渉するのみでは駄目であり、むしろ良い環境を与へ少しの善行でも、これを助長（褒賞等による）するべく仕向けることが、良策であり同時に親もこのことを通じ種々の反照をさせられ、親自体が進んで社会浄化に乗り出さねば効果の少いことが判つて参つたのであります。

更に上は老人より、下は幼児に致る迄それぞれ関連を持ち部落を総合した勇気が必要、あることに気付いた訳であります。こうした事により部落の動きは自然的に生れて参つた訳であります。上述の如き経過をたどり市部落の子供会は進み、次に記載致します行事を部落の援助のもとに進めつつあるのであります。

小供自体での行事

一、道路の清掃（小学）毎日曜日

二、八幡宮境内の清掃（中学）毎日曜日

三、警防団夜廻りの協力（中小学）

以上に対し毎年部落より褒賞あり

PTA中心の行事

一、親子会（毎月一回）中小学校共隔月に合同会を行ふ

二、親子協同のレクレイション又は遊山会　年一回挙行

三、部落運動会　子供を中心とした部落全員參加年一回

婦人向上の為の行事

一、生活改善研修会　毎回一二回但しグループ活動

二、協同炊事場の設置による部落協同炊事（農繁期を主体とする）設置に対し町より助成部落負担でする

三、敬老会　毎年一回

以上の如き歩みを致しているのでありますが部落全体としては尚一層の努力と研鑽を積み総合的な計畫下に於て進まなければ実効を上げることは望めないと考へて居ります。尚部落としては幼児育成の為に保育園の設置、環境衛生の為に用水路の改善工事施行を要望する次第であります。

市嘱宅員　吉見開治

（写眞説明）　市部落親子会秋の運動会
（上）お母さんたちの宝釣り
（下）こんどは「僕たちガンバルぞ」

佛掌芋研究會（假稱）の發足

古くより上地区に栽培されておる仏掌芋を特産として発展さす段階として来る十月一c。c。c。二十日午後二時より宗頭小学校において仏掌芋研究会が結成されます。この研究会の目的は栽培技術を探究し飛躍的増収の技術を確立し広く町内適地に呼びかけ増反を図り以つて特産化を推めるもので、当面は規約の制定・栽培基準の設定　町設置の試験展示会の成績結果の報告・農家の栽培についての体験発表等が行はれる予定であり、一般栽培者は勿論意志ある同志は多数參加される様望みます。

11月 12月 農作業メモ

水稲

本年産米も台風の被害を受けて相当の品質の低下が予想されるが県、食糧事務所が提唱しておる産米改善に積極的に協力し乾操第一、調整を入念に良質米の出荷に留意する。米春早期栽培及保温折衷苗代を行うものは坪当り一斗の割で籾殼燻炭を確保して置く。

麦

種子は必ず風呂湯浸法とし部落若しくは班別に依る共同消毒の二重消毒を行つて各種病原菌の撲滅を期す。風呂湯浸法は夜九時頃よりC四六―四七度に間違いなく湯温を調節し下の火を全部消し、種子は袋に入れて湯中に吊し蓋を五寸位開けておき、一時間に一―一、五度下がる様にして置く。肥料は土質等を考慮して施肥するが概ね堆肥二〇〇貫硫安八貫過石一〇貫塩加二、五貫石灰一〇貫を基準とし、石灰は耕起又は砕土の場合全量を燐酸は全量を元肥　加里は全量元肥若しくは砂地の場合一部を二―三月の追肥に残しても良い。N肥料は追肥を重点とし元肥使用は三割程度とするが特に近年苦土欠か問題とされておりこれの欠乏地は苦土石灰や熔燐等の施用か望ましく苦土を反当二―三貫施用する。

菜種

菜種は最近著しい増反斧を示しておるが各地に萎縮不稔の障害が見られこの原因は主としてほう素欠乏とみられているのでこの対策に万全を期す必要がある。目下の対策としてはほう素を含有する堆厩肥（反当四百―五百貫）草木灰（一五―三〇貫）の施用、及市販のほう砂を苗床若しくは定植時より二週間以内（早い方が良い）に施用する成分量でほう素反当一〇―三〇匁、乾細砂土肥料と均一に混合して使用するか溶かして噴霧機で撒布すると良い。葉面撒布の濃度はほう砂を一斗水に五〇匁、反当四斗の撒布量とする。尚アンモニヤ肥料との混合は不可

飼料作物及畜産

緑飼が欠乏する時期で家畜の飼育には特に留意すると共にサイロ構築の適期である。えんばく等の青刈作物は刈取二週間前に硫安で反当二貫を施す、これは作物中の蛋白含量を増加すると共に第二次の発芽及成育が非常に良好となる。

本町からも參加
畜産共進會

第十回山口県畜産共進会が来る十一月二日から四日まで三日間宇部市、宇部商高定時制分校グランド並びに神原小学校グランドに於て開催されることになりました。大津郡市から出品する家畜割当は和種々牛（牝）五、種緬羊一、種豚二、種鶏二であります。本町から宇小島池永定美さん所有の左記種緬ヰが出品されます。皆様の御声援を願います。

種類　日本コリデール
名号　すみいけ
性　牝
生年月日　昭和二十九年三月二十日

十一月三日……「文化の日」自由と平和を愛し、文化をすすめる日

十一月廿三日……「勤労感謝の日」勤労をたつとび、生産を祝い、國民たがいに感謝し合う日

◉明るい生活……時間を守り、お互感謝し　挨拶する　工夫し生産にはげむ

公民館の窓

「生活と結ばれた體育」

—市部落運動会を観て—

　昨年小中学校PTAが中心となつて部落の子供遊び場を作り第一回部落大運動会を盛大に行いましたが、本年も昨年に引続き第二回部落運動会を実施しようという声が次第に盛り上り、親子会が中心になつて各種団体の援助のもとに行うことに決定しました。

　第一回準備委員会に小中学校子供役員、親子会役員、部落役員、青年団、婦人会幹部の参集を求めて(1)開催日時(2)経費(寄附に依る)(3)競技種目(4)会場整地その他準備を協議決定し第二回の協議会で(1)出場種目の調整(2)運動用具の調査(3)役員採点法などの決定をし去る十三日、好天に恵まれて理解ある来賓と部落民の真の和とによつて「あゝ今日の運動会はおもしろかつたなあ来年もやろうで」と言う声をきき乍ら盛会に終了する事が出来ました次に運動会を運営しての感想を卒直に述べて見ます。

(一)見て楽しむ運動会より行つて楽しむ運動會

　国民性かも知れないが一体に日本人は何事によらず自分がその事に参加して楽しむことをせず、他人のする事を見物する立場に廻つて楽しむ風がある。従つて批判多くそのものの良さを本当に理解し体験することが出来ない、私はラジオ体操や簡単な矯正体操を一般の方々とよく行つているが「労仂やつて疲れている時体操をやると非常に体も気分も良くなる体操はえゝなあ」と言う言葉を度々聞かされます。そこで部落運動会は誰もが自分の体力に応じて全員何かの競技に参加出来る様にプログラムを作る事が必要であり、その意味から言つて本運動会は成功で有つたと思います、競技の中に「六十五才以上の太公望」で年寄りの方が男子も女子も五十も六十も若返つて無心に競技を楽しまれる様を見ては思わず微笑を禁んじ得ませんでした。「小中学校生徒のマラソン競走」に自分も一走りと黙々とスポーツを楽しまれ、他から見れば「やちもない一文にもならず苦しい目にも合つて」と思う人も有るかも知れないのに、走る本人は苦しさを乗越えてそこに愉快さを味つて居られるので、その姿こそ本当に尊いものであります。「アベツク競走」も面白く男子に目かくしをさせねば女子が転んで危険であると云う心使いもあつたのに出場者はわんさと今までの引込思案もどこえやら、そこで器具係はカード作りに「あゝ忙しい」と嬉しい悲鳴をあげました。又「幼年児の六十米競走」に風船を振り乍らニコニコと笑う顔にやがては体育即生活を基盤として時代と地域の要求にこたえんと言う気風が満みちている様な気かしてなりませんでした。

(二)なごやかな中にも何かピリットしたもののある運動會

　計畫を立てる時青年団から陸上競技と言う要求があつたが場が悪い、不十分乍らも場を作り要求の一端でも正式に行えるようにし、日常の練習を積んで運動会に臨み陸上競技の向上を計れたらと念願します。又採点する競技は正直者が馬鹿を見る様なものであつてはならない、子供に悪影響を及ぼすので心せねばならぬと痛感しました。

(三)市部落のみに止まらず最少し広い範囲で行う運動會

　部落運動会で一般人も参加するが主体が生徒で有るので一般には部落以外の誰もが参加する機会が少いからブロツク的に二、三部落が合同して行えば目的は十分に達しられるので、近隣部落の積極的な参加が望ましいと思います。

　こうした有意義な運動会を機会に生活に直結した社会体育運動の渦巻きの大きくならんことを切に望んで止みません。

（町体育指導委員　三原守）

俳句

清風句會十月分

鳴子縄下校の子等の引いて行く　旬一

俄雨来るらし籾をいれ急ぐ　か牛

秋祭道を塞ぎし御輿戯　季子

雨戸繰る手をとめしばし虫の声　無名女

虫鳴けば古里恋し母恋し　九重

山門を彩る秋の入日かな　蓮水

朝日さす高き梢に百舌の声　栄一

前庭の池のほとりに桐一葉　あい子

月青く冴えて二人は廻り道　文子

庫裡裏に祖母の衣干す菊の秋　元

落葉ふみ誰れか来るらし草の庵　一平

鶏頭の色鮮やかに雨浴びし　磊磊

十一月分は三日に長門峡に吟行します。兼題は「こがらし」ですから七日迄に住所氏名記入の上七句以内公民館え提出して下さい。

どの様に讀まれているか

町広報についてアンケート

　隔月発行の本紙に、対して町民の皆さんがどれだけ関心をもつて下さつているか、又これに対して如何なるお意見を、いただいていられるかが、編集委員会の誰もが知りたい点でありお聞きしたい処でした。去る九月末、二〇〇名の方から次の**アンケート**をとりこれを集計しましたので御参考までに、今後に於いても希望御意見をお流し下さいませ

あなたは広報を讀んでいますか

◇読む　一七一名
◇読まない　一
◇時々読む　一九
解答なし　九

よく読んで下さつている

讀む人は誰れですか

◇祖父　一二名
◇祖母　一四
◇父　一二二
◇母　一三一
◇成年　七一
◇高校生　二五
◇中学生　八八
◇小学生　一一

矢張りお父さんやお母さんがよく読んで下さり、特にお母さんの多いことはよい

どんな記事から讀みますか

◇産業関係のもの　三八名
◇町の政治記事　八五名
◇教育関係のもの　三三名
◇公民館の記事　五名
◇お知らせ記事　一〇
◇その他　戸籍（三一）衛生（二七）みすみあれこれ（二八）俳句（二六）その他　一

（これでは、町の政治、産業教育に最も関心の深いことが分ります）

どんなに記事があれば良いと思いますか

◇町の政治記事を多く　しかも(イ)具体的に　(ロ)議会のようすも分り易く　(ハ)財政のことも　(ニ)町政の目標もはつきりと　(ホ)町内の人の動き、政治との関係　(ヘ)町各課の事務実態など　三三人

◇産業関係記事を多く　(イ)産業振興策　(ロ)物価　(ハ)体験記　(ニ)産業歴　(ホ)漁業　(ヘ)林業　(ト)商業　(チ)その他日々の農作等々　二一人

◇教育関係の記事に於いて　(イ)社会道徳的なもの　(ロ　風紀問題　(ハ)敬老　(ニ)村田清風遺徳　(ホ)子供の読み物　(ヘ　中小学生の作品　(ト)　修養らん(チ)美談篤行等々　二四人

◇『町民の声』をきくらん　一五人

◇町内部落の状況を知らせてほしい　(イ)部落ニュース　(ロ)活動状況　(ハ)子供会のことなど　九人

◇その他　(イ)生活改善　(ロ)簡単な修理法　(ハ)収入ある内職　(ニ)調理法　(ホ)農婦に役立つもの　(ヘ)衛生　(ト)町の知らせ　(チ)公民館の行事表　(リ)月行事　(ヌ)面白い記事　(ル)今迄通りでよい等々　一五人

◇解答なし　一二〇

その他お氣付きはありませんか

◇発行回数を増してほしい　九人　(イ)毎月一回　月二回発行　(ロ)二ケ月一回なら四頁大に　(ハ)時々枚数不足　九人

◇編集について　(イ)研究工夫し、形式的でなく、堅苦しくなく読み易く　(ロ)多方面にわたつてよい　(ハ)編集者の直筆がほしい等　四人

◇写眞について　(イ)写眞を多く　(ロ)時々写りがわるい

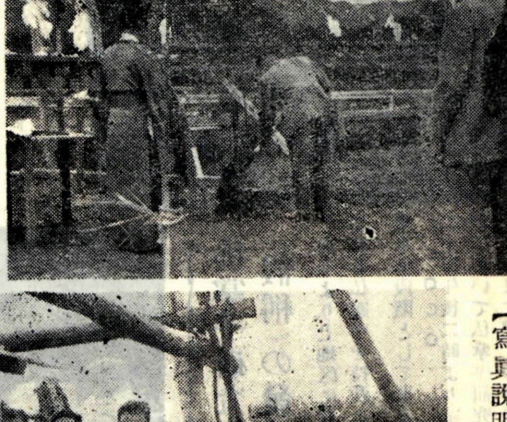
◇その他　(イ)面白いから読む　(ロ)面白くない　(ハ)良いことばかりでなく悪いことも　(ニ)小中学生作品は中学新聞があるから必要なし等　五人

◇その他　解答なし　一五三人

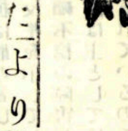
以上

御回答下さいました方々に感謝いたしますと共に、これからの編集に皆さんの意見を充分生かしたいと存じます

（編集長三原）



【寫眞説明】(上)三隅湯免第一期工事起工式 (下)第三ボーリング視察中の町長一行



学園だより

　町内各小中学校は農繁休も終えて、愈々秋のみのりと共に学力の充実にと学業にはげんでいる。校内研究は勿論町内各学校共同研究（理科、国語）や先進地学事視察も計畫実施（明倫は長崎方面、中学校は山陰地方）

浅田校 の教室増築、講堂の新築工事もどんどん進んでいる、その中に情操教育陶治にと精進が続けられている。

宗頭校 の健康教育も水道施設完備と完全給食えの切替とで益々児童体位も向上することであろう

明倫校 も統計教育三ヶ年の研究成果を発表する段階に達した来る十二月上旬には研究大会をもつ予定

三隅中 では産業教育の推進に馬力をかけつつ生徒の就職進学の進路指導にも乗出している。

△十一月二日　山陰地区中学校武道大会開催

△十二月一日　大津地区中体連駅伝競走（三隅町決勝点）

　各学校共十二月上旬からは学期末実力テスト実施生徒児童の学力程度査定、大いに教育効果の反省をしたい。次に明倫校も秋祭り小使と状況を見ていただきたい。使つた金高の一人平均は六七円で男子の方が女子よりも多い。又個人別に見ると最高四二〇円まであり平均と比べてそれぞれ反省させたいと思う又使い方を見ると玩具類にあてた金額が巾広く低学年程その割合が多くなつている。又全般に飲食物に三分の一の費用をあてている事はどの学年も大差ない。最近ではくじに熱中する子供は少くなつたようである、結果から見て、上学年になると余程小遣いの使い方を考えてくるが特に三、四年頃は事前に指導と注意を与えなくてはいけないし、又家庭でも日頃からお金の使い方を指導してもらいたいものである。

秋祭り小遣い調べ

◎使つた金高の学年別一人平均

二年	四八円	三年	五八円
四年	八八円	五年	七五円
六年	六八円		

◎使い方

二年	飲食物	三六%
	玩具類	五八%
	学用品	五%
	くじ	一%
三年	飲食物	三八%
	玩具類	三五%
	学用品	一二%
	くじ	四%
	その他	一一%
四年	飲食物	三四%
	玩具類	三四%
	学用品	一〇%
	くじ	六%
	その他	一六%
五年	飲食物	三〇%
	玩具類	二九%
	学用品	一一%
	くじ	三%
	その他	二七%
六年	飲食物	三〇%
	玩具類	一八%
	学用品	一四%
	くじ	三%
	その他	三五%

吉凶だより

八月二十六日から十月二十五日まで

八月出生数	三名
九月出生数	一七名
十月出生数	九名

八月死亡者

山木哲也	大竹	一〇才
山本善行	豊原	四才
(大谷)		

九月死亡者

大谷ハル	沢江	八四才
田中チサト	東方	八〇才
山本五郎	上中小野	六五才
藤村ミヨ	沢江	七五才
弘中ツヨ	浅田	六三才
香月春平	久原	六五才
(現下関市)		
石津君江	野波瀬	三〇才
中野スエ	浅田	二九才

十月死亡者

長井徳子	上ゲ	三一才
浮村タケ	大竹	五八才
武田新一	野波瀬	五三才

◎狩獵解禁　十一月一日　空氣銃の所有者は登錄手續を…本人の寫眞、所持許可證、印鑑、金五百圓の証紙が必要　十八才、未滿は許可されない）